

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第1回宮古市都市計画審議会を次のとおり開催しました。

令和6年11月18日

宮古市都市計画審議会

- 1 開催日時
令和6年11月11日（月） 午後1時25分～午後2時50分
- 2 開催場所
宮古市市民交流センター 多目的ホール
- 3 議題
宮古市立地適正化計画の策定について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
都市整備部都市計画課管理計画係 電話0193－68－9108

令和6年度第1回宮古市都市計画審議会

1 出席者（14名）

宇佐美 誠史、鴨志田 直人、中嶋 勝司、木村 誠、小島 直也、鳥居 晋、
高橋 秀正、石井 真吾（代理：小岩 孝行）、小岩 利弘、佐藤 秀和、
花坂 康太郎、阿部 剛夫、櫛桁 彩子、戸田 麻子

2 欠席者（-名）

なし

3 事務局出席者（7名）

都市整備部長 藤島裕久、都市整備部都市計画課長 盛合弘昭、
都市整備部都市計画課管理計画係長 佐々木信吾、同係 乙戸美沙子主任、
同係 高島尚希技師、都市整備部都市計画課まちづくり推進係長 花坂真吾、
同係 高屋敷圭主査

4 傍聴者

なし

5 議事等

宮古市立地適正化計画の策定について

宮古市立地適正化計画の内容について事務局より説明した。計画内容に対し、承認された。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【「宮古市立地適正化計画の策定について」】 (委員) 地域拠点と生活拠点との違いは生活圏における時間軸で設定しているという解釈でよいか。 (委員) 20年後を見越した計画とのことだが、中心市街地にいろんな機能を集めて人口を集約しようというものだと思う。拠点を分散させるのではなく、もっと集中させて、施設や人を集めてまちを存続させるべきではないか。 (委員) 例えば、川井や新里に住む方へインセンティブがあるような施策がたくさんあれば、居住誘導区域に人口が集約でき、拠点をすくなくできるのではないか。(意見) (委員) 市民参画に関して、高校生や中学生にアンケートは行ったのか。	(事務局) 時間軸でもあるが、中心市街地と合併前の各拠点でできることでの違いでもある。 重茂や門馬のような生活拠点では生活サービスは難しいが、しっかり交通ネットワークを確保することで近くの地域拠点に通い、生活を維持できるということも考えている。 (事務局) 人口減少が進んでいるが、それぞれのまちの歴史や文化も大切にしていきたいと考えている。おのずと機能や人口が集約されていくことはあると思う。ゆえに状況を見極め、5年ごとに見直しをしていくものである。 (事務局) この計画においては行っていないが、市として毎年高校生アンケートを行っている。その結果を参照し反映した。